

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|-----------|-------------------------|--------|---------|-----------|--------------|
| 団体名 | 輪之内町 | | | 代表者名 | 朝倉 和仁 |
| 担当者部署(属性) | 情シス担当 | 担当者部署名 | 企画財政商工課 | 連絡先電話番号 | 0584-69-3126 |
| 担当者役職 | 主査 | 担当者氏名 | 市橋 絵利加 | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 5030292 岐阜県輪之内町四郷2530-1 | | | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

| | | | | | |
|-------|--|---------|--|-----------|--|
| 団体名 | | 連絡先部署 | | | |
| 担当者氏名 | | 連絡先電話番号 | | 連絡先E-mail | |

1-3. 支援を求める内容

| | | | |
|----------|---|-----|---------------|
| 支援方法 | 職員向け啓発・研修（単独） | 事業名 | 庁内のDX機運醸成研修事業 |
| 概要 | DXの意義を理解し、変革を自ら推進する思考と行動力を身につけ、自発的にDX推進に挑む意欲を高めるための研修 | | |
| 支援を求める分野 | 人材（DX推進のための機運の醸成） | | |

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | | | | | |
|----------------|---------------|-------------|---------|--------------|----------|
| 2-1. 対応日・時間 | 期日・支援内容の変更あり | 受付番号 | 変更後の派遣日 | 変更後に実施した支援内容 | 実地/オンライン |
| | 無 | | | | |
| | 派遣日予定日（申請書より） | 支援内容（申請書より） | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間（分） |
| | 令和7年11月4日 | 講演(オンライン) | 13時30分 | 16時00分 | |
| | | | | 活動時間（分） | 150 |
| 2-2. 派遣場所 | 会場名 | オンライン | | 最寄駅 | オンライン |
| | 所在地 | オンライン | | 最寄駅からの交通手段 | オンライン |

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|---|
| アドバイザー | 長尾 飛鳥 |
| 評価 | 大変良い |
| 上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に） | 当町の現状をヒアリングいただく中で、他市町との比較や取り組みを紹介いただき課題を整理できた。自治体職員という立場から親身に相談に乗っていただき、実践的なアドバイスをいただいた。小規模団体のため情報システムを一人で担当しているが、悩みが共有でき、現場を知るアドバイザーからの支援が大きな励みとなった。 |
| アドバイザーへの要望事項 | 業務に疑問を持っている、課題に気づいている若手職員は多い。組織としての機運を高めるためには、変革に抵抗のある中間層の職員のマインドセットが必要である。また、DX人材の発掘に繋がる講演をお願いしたい。 |

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | | | |
|----------------|-------------------------|-------|----|-------|
| 4-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 | 合計人数 | 1人 | |
| | 属性 | 自治体職員 | 住民 | 企業・団体 |
| | 人数 | 1 | 0 | 0 |
| | | | 0 | 0 |

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

| | |
|------------------------|--|
| 事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい） | ○人事異動が頻繁（3年程度）なため、担当者が業務を理解し、変革を考える頃に交代してしまう。 ○人事異動がない専門職（管理栄養士、児童発達支援教室の先生など）の業務にアナログな部分が多く残っている。 ○職員数が少ないため、現場対応が多く、情報システム担当が席を離れられない。問い合わせ対応や端末更新作業なども担当し、負担が大きい。 |
| 支援により目指す成果（具体的にご記入下さい） | ○職員に「業務フローを見直して不要な事務を洗い出し、廃止する」という意識醸成を図る。 ○ODX化により、住民の利便性の向上を図る。業務フローの変革により窓口対応のサービス充実に繋がる。時間外勤務の削減で職員のモチベーションも向上する。 |

| | | |
|---|--|-------------------------|
| アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい) | マインドセット後に、「理想の自治体像の策定」または「廃止したい業務の洗い出し」のどちらかを検討。輪之内町職員はどちらでも可とし、研修の目的は「育成」よりも「発掘」が重要であるという方向で進めていくとよい。 | |
| 支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい) | ○DXが進まない原因の分析（人事異動の時期、業務の属人化、複数の業務の兼務） ○今度DXの推進に必要なのは人材育成と発掘である。 ○次回の研修において、DXに前向きな職員の発掘と今後育成につなげていく。 | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| | 現状のヒアリング、課題の整理、研修内容およびアンケートの打ち合わせ、今後の支援に関する調整 | |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | 次回現地研修実施により、幅広い世代の職員の機運醸成、DX人材の育成・発掘を図る。 | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 | |
| | 今回の支援は研修前のヒアリング、打ち合わせ等のため | |
| 4－3. 今後の計画 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい | ④予算以外で、今後取組む事項がある |
| | まずは業務の見直し、不要な業務の洗い出し、今あるツールを活用したDX化と進めたいため予算は不要 | |
| 4－4. 事業の最終的な目指す姿 | 職員のDXに対する機運醸成により、オンライン申請を増やし住民の利便性を向上させる。職員の事務負担の軽減に繋がり、住民サービスの質を高める。 | |

| | | |
|--|---------------------------|---|
| 5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可 | | https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/ |
| 掲載許可 | <input type="radio"/> 掲載可 | |
| <div>なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</div> | | |
| 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子 | | |

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

